

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	中学校2年生・国語・持続可能な未来を創るために 「SDGs 新たな発見を報告しよう」
活用方法	「見いだす」では、教師見本を示し、調べたいSDGsの目標を決めさせる。「自分で取り組む」では、ネットや図書資料を使って調べ、まとめさせる。「広げ深める」では、レポートに分かったこと、自分の考え、交流して広がった考えをまとめさせる。「まとめあげる」では、よい点や改善点を見いださせる。4つの過程により、身に付けさせたい力が明確になり、生徒も目的意識をもって取り組むことができる。
成果等	4つの過程の中ではじめ、中、終わりの場面で振り返りを行うことで、生徒が見通しをもつこと、学びを調整すること、身に付いた力を振り返ることができた。

1 単元名「SDGs 新たな発見を報告しよう」

（伝え合う言葉 中学国語2「持続可能な未来を創るために」／「レポートの書き方」）

2 単元について

（1）単元観

本単元は、学習指導要領 第2学年〔思考力、判断力、表現力等〕「B 書くこと」の指導事項ア「目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。」と、「C 読むこと」の指導事項オ「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。」、及び〔知識及び技能〕（2）情報の扱い方に関する事項イ「情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使うこと。」を受けて設定した。

これらの指導事項を身に付けさせるための言語活動として、SDGsから興味をもった目標を選び、それに関連するテーマを自分で決め、調べたことと考えたことを整理してレポートにまとめる活動を設定した。ここで扱うレポートとは、「体験、調査や資料から収集した情報を整理、

構成し、特定の形式に沿って特定の読み手に報告する文章」（『国語科重要用語辞典』より）と定義する。作成の際は、タブレットによる文書作成ソフトによる入力か、手書きかを選択できるようにする。また、調べる際には学校図書館とタブレット（インターネット）を利用させる。この活動は、学習指導要領における「読むこと」の言語活動例ウ「本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。」を参考にした。

書くことアは「題材の設定」「情報の収集」「内容の検討」の指導事項である。本単元での目的は、SDGsに関する自分の知識を広げるため、知ったことや考えたことを友達に知らせるためにレポートを作成することとする。題材を決める際にも学校図書館とインターネットを利用し、興味をもった目標からテーマを決めさせる。これまで学習してきた図書館の十進分類法や配架についてあらためて理解させたい。また材料の整理の際には、（２）情報の扱い方に関する事項イ「情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと」との関連を図りたい。

読むことオは、「考えの形成、共有」に関する指導事項である。単元の後半に設定し、本単元では、同じ目標を選んだ生徒にグループを組ませて、自分の考察を書いた後で話し合いを行う。これにより、上記の「他者の考えやその根拠、考えの道筋などを知り、共感したり疑問をもったり自分の考えと対比したりすることが、物事に対する新たな視点をもつことにつながり、自分の考えを広げたり深めたりする」を実現しようとしている。

情報の扱い方に関する事項イは、「情報の整理」に関する指導事項である。本単元では、前半から中盤に指導する。本の情報とインターネットの情報を利用させることで複数の情報の整理の仕方や共通点、類似点を見いだせるように指導する。また情報カードを使って情報を整理したり、出典を示したりする際の材料とする。

単元の構成は、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、千葉県教育委員会が作成した「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の①見いだす、②自分で取り組む、③広げ深める、④まとめあげる の4つの過程を意識して行う。

初めに、①見いだす の過程では、教師が作成した見本（以下、「教師見本」とする）を示し、どのような活動を行うのか理解させる。図書資料やインターネットの情報を活用しながら自分で課題を設定する学習であること、同じ目標からテーマを決めた友達と交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする学習であることを確認する。そして、どのようにしたら見本のようなレポートが作れるかを考えさせる。

次に、②自分で取り組む の過程では、学校図書館で図書資料を使いながら何を調べるかを決めさせる。生徒は各自でインターネットや図書資料を使って調べ、ノートや情報カードにまとめていく。学校司書の協力を得て、どのような配架になっているかの確認や、目次や索引の見方、出典の書き方の指導をする。

そして、③広げ深める の過程では、生徒が調べたことを報告する形式のレポートを書く。調べて分かったことに加え、自分の考えや、友達と交流することで広がった考えをまとめさせる。

最後に、④まとめあげる の過程では、完成したレポートを読んで感想を伝え合い、自分のレポートのよい点や改善点を見いださせる。最後に身に付いた力について振り返らせる。「題材の設定（書くこと）」、「考えの形成（読むこと）」や「情報の整理の仕方」について身に付けた力を生徒が自覚し、今後に生かすことができるようにさせたい。

(2) 生徒の実態

本単元と同様の書くことの指導においては、昨年度1学年の2学期に「調べて考えたことを報告しよう」という単元名で身のまわりのものやできごとの中から興味や関心のあることを選び、それについて調べたことを整理してレポートにまとめる学習活動を行った。学校図書館全体を使い、0～8類までの図書資料から一人一人がテーマを決めてレポートを書くことができた。課題（テーマ）を決める学習として共通する部分があるので、生徒に思い出させながら活動を進めていく。課題としては、テーマを決めるのに時間がかかった生徒がいたこと、情報の整理の指導が十分でなかったことがあるため、十分な手立てを準備したい。

本学年の生徒は定期的に学校図書館を使った学習に取り組んでいる。前述の学習に加え、奥付を使って本の情報を得ることをねらいとしたポップづくりや、学校司書と連携した学校図書館を使って本や情報を探す活動に取り組んでいる。目次や奥付を知り、活用する学習として本単元につなげようとした。奥付、索引とも、複数回にわたって使い方を指導している。

(3) 指導観

①テーマを決める際の指導（書くことア）

実態を受けて、生徒がテーマを決めやすいような手引きを作成する。「なぜ…か」、「どのように…か」などの言葉を用いるようにさせること、調べることのできるテーマであること、複数の資料に当たる必要のあるテーマであることなどを再度確認させたい。

SDGsに関心をもたせるために、導入の段階で概要を紹介する動画を見せる。調べる材料は、本やインターネットだけでなく、教科書会社のSDGsパンフレットや新聞社のワークシート通信も活用したい。

②情報の整理の指導（知識及び技能）

テーマを決める段階で、思考ツールの活用を促す。昨年度からマッピングを使って情報の整理をさせていたので、マッピングを中心に、情報を図式化させる。テーマを決める際に複数の情報を把握して、自分の興味があることを明確にさせたい。また、可能なものは複数の情報に当たって比較すること、情報カード（図2）を使って整理することを指導する。情報カードは出典の示し方の際にも役立つ。複数の資料の比較については、図書資料同士の情報を比較させるとともに、もっと知りたいことについてインターネットの情報も加えて、比較をさせたい。手引きを使いながら指導する。

図2 情報カード（A6用紙）

情報カード	氏名	情報カード	氏名
調べたこと（項目）	調べた日 2023年7月30日	JICA	_____
調べた内容		調べたこと	海外協力の隊が
自分の知識や技術を開発途上国の発展に生かしたいと考えている青年を、アジア・アフリカ・中央アメリカ・南アメリカ・西アジアなどに2年間派遣する制度。		（項目）	取り組む課題とは
資料リストNo.1 P38	NDC 本の 背表紙		環境問題から格差の問題、医療の問題から農業の問題まで、現実様々な課題に取り組んでいる。
書名（Web名） みんなの総合学習10のテーマ①深めよう国際理解	375	資料リストNo. 3 P	
著者名 刈宿俊文	か	書名（web）	jica.go.jp/volunteer/ NDC
発行所 大日本図書	1	著者名	
		発行所	JICA ホール

③共有する際の指導（読むことオ）

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果では、本指導事項に大きな課題が見られた。「**2** 説明的な文章を読む（本の読み方）」設問四「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる」問題である。全国平均正答率を大きく下回った。解答類型を見ると、正答の条件のうち「自分の読書に関する知識や経験に触れながら書いている」のみでできなかった生徒や、「これから自分がどのように本を読んでいきたいかを具体的に書いている」のみでできなかった生徒が比較的多かった。この問題は「読むこと」の指導事項に関する問題であるが、本校全体の実態から、読んで考えたことを文章に書いてまとめることが苦手な生徒が多くいると予想する。また、自分の知識や経験と結び付ける書き方がわからない生徒もいる。

読んで考えたことを知識や経験と結び付けるには、学習指導要領解説にある「共感したり疑問をもったり自分の考えと対比したりすること」を行う必要があると考える。

本単元で考えを共有する際には、自分と同じSDGsの目標からテーマをもった生徒同士でグループを組ませる。自分が調べた内容、友達が調べた内容を比較したり、結び付けたりすることによって、共通点、相違点を見だし、また新たな考えを引き出せるような指導を行う。考察は二段階に分けることとし、共有前に考察(1)「調べて考えたこと」をまとめておくようにする。共有後に考察(2)「友達と交流し、SDGsの目標について考えたこと」を書かせ、その変容から考えの広がりや深まりが生まれるようにしたい。

④学習状況の記録（主体的に学習に取り組む態度）

図3は、見通しをもつ段階、学びを調整する段階、学習を振り返る段階で、個人の学習状況を記入させる用紙である。「主体的に学習に取り組む態度」は粘り強い取組を行おうとする側面と、自らの学習を調整しようとする側面を評価することが求められている。本単元全体のめあてや、この段階で何を書いてほしいかを示すことで、生徒自身も的確に学習を振り返ることができ、教師も「粘り強い取組や学習を調整する態度」を見ることができると考える。

STEP 1 見通しをもつ	記入 9月 9日(金) <初めの感想> ・この学習について考えたこと ・「全体のめあて」を聞いて、できるようにになりたいこと など	今日、少しボトの書き方について知って、私テーマは全然決まっていなくて、どのように書けば良いかは分かりました。 この学習を通して、私は、要約めいた感じで、読みやすか 読みやすさは、やはりと長々としたレポートにした ぞす。
STEP 2 調整する	記入 9月 16日(金) <途中の感想> ・材料の整理の仕方についてわかったこと ・情報の比較の仕方について気付いたこと ・ここから何をどのように取り組むか など	情報カードを書くことにより、スラスラノートを書くより、大事な情報と、いかに情報が分かり、STEP1の時に書いた要約とつながったと思いました。また、今までに選んだ2冊と、新しい本を1冊見つけたけれど、たいてい所に付けたしかたけど、時間がなくてそまていきませんが、今日のは、わりやすいレポートを書いたぞす。
STEP 3 振り返る	記入 9月 26日(月) <終わりの感想> ・レポートを作ることにについてさらにわかったこと ・この学習で身に付いた力 ・もっと頑張りたいこと ・今後に生かせそうなこと など	レポートは、文章をスラスラ書くだけじゃなく、分かりやすくまとめる、自分の意見、考えを入れるまで良いレポートが作れると友達を見て分かった。この学習で、まとめた、たぶん自分の考えを出し方が見についていたと思う。私は、レポートで考察をもっと頑張りたいと思った。昔から自分の考えを出すのが苦手だったけど、少し克服できて、良かったし、もっと克服したいと思った。今日の学習で分かったことを、今後は生かしたいと思った。しかも

図3 「学びの3段階シート」のイメージ（2022年実践 1学年）

<研究主題とのかかわり> 「思いや考えを明確に伝える国語科の学習指導」

本単元では、思いや考えを明確に伝える生徒を育成するために、研究仮説にある「文章を書く時のポイント」を指導する場面を中心とした少人数指導を導入する。T1とT2、T1と学校司書が連携し、必要など所で必要な支援を提供できるよう、生徒の観察を通して、個別の支援を与える。また、単元の中で、ノートへの記述の機会を多く設定したり、生徒と生徒、教師と生徒同士で対話をしたりすることで、自分の考えを明確にさせたいと考えている。

3 単元の見目標

- (1) 情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕 (2) イ
- (2) 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1) ア
- (3) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) オ
- (4) 言葉がもつ価値に気付くとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① テーマを決めるときや、レポートに書く内容・順番を決めるときに情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使っている。 (2) イ	①「書くこと」において、レポートを書くという目的に応じて、SDGsの目標に関連することの中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 B (1) ア ②「読むこと」において、本やインターネットから理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、友達との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 C (1) オ	①進んで題材を決め、参考資料を積極的に調べながら学習課題に沿ってレポートにまとめようとしている。

5 単元の指導計画（8時間扱い）

次	時間	ねらい 学習活動	・指導のポイント ◎必要な支援	☆評価規準 [] と (評価方法)
一 ① 見 い だ す	1 教室	<p>【全体】教科書 p94「持続可能な未来を創るために」を読み、「SDGs で興味をもったことについて調べ、考えたことを友達にレポートで報告する」活動を知り、教師見本を見る。</p> <p>去年のレポートと違うところはどこか。見通しを持ち、できるようになりたいことを考えよう。</p> <p>【全体】レポートの構成を知り、学習の全体の見通しを持つ。</p> <p>【全体】SDGs の目標を知る。</p> <p>【個人】目標番号を選ぶ。学びの3段階シートを書く。</p>	<p>◎てびきや見本が書かれた冊子を配付する。</p> <p>・教師見本を提示する。</p> <p>・昨年度の学習とどこが違うか、どうしたら見本のようなレポートができるか、学習過程を考えさせる。</p> <p>◎動画、冊子を見せて概要を理解させる。</p> <p>・単元の見通しを示す。</p> <p>・第3希望までとり、教師がグループを作る。</p>	<p>☆[主体的に学習に取り組む態度]①</p> <p>学びの3段階シート</p> <p>※8時間目が終わった後にまとめて評価する。</p>
二 ② 自 分 で 取 り 組 む	2 3 学校 図 書 館	<p>【個人】自分の目標番号とグループを知る。</p> <p>レポートのテーマはどのように設定するか。</p> <p>【個人】インターネットサイトと図書資料を見ながらマッピングを作っ て、調べたいことを見つける。</p> <p>レポートのテーマを明確にしよう。どんな材料が集まったか。</p> <p>【個人】下記の事項を確かめながら 図書資料を使ってテーマを設定する。 ○テーマを設定した理由は何か。 ○報告のための材料はあるか。</p>	<p>・テーマは文の形式にすること（「○○について」にしない）、なぜ、どのように、どうしてなどを使うことを説明する。</p> <p>・資料がない場合は、調べるものを変える。</p> <p>・複数の情報に当たる必要のある課題であるかどうか確かめさせる。</p> <p>・「テーマのてびき2」を参考にさせる。</p> <p>◎「テーマのてびき」からか、教師が用意したテーマから選ばせる。</p> <p>・確実に使う情報があれば情報カードを書き始めてもよいとする。</p>	<p>☆[知識・技能]①</p> <p>ノート</p> <p>ここでは、テーマを決めるときに情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使っているかを確認する。（2）イ</p> <p>※4時間目が終わったあとまとめて評価する。</p> <p>☆[思考・判断・表現]①</p> <p>ノート</p> <p>ここでは、レポートを書くという目的に応じて、SDGs の目標に関連することの中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしているかを確認する。</p> <p>B（1）ア</p>
三 ③ 広 げ 深 め る	4 教室 ・ 学 校 図 書 館	<p>自分の「テーマ」について、どのように情報を整理したか。</p> <p>【個人】タブレットと図書資料を両方使い、必要な材料を情報カードに書き込む。 ○必要な情報だけを書き抜く。 ○一枚にたくさん書かない。</p> <p>【個人】情報を整理する。</p>	<p>・目次や索引などを参考に して本を選ぶことを 確認する。</p> <p>◎状況により、興味のある分野のテーマ例を提示して、参考にさせる。</p> <p>・複数の情報を持ち、比較や分類することを確認する。</p>	<p>☆[知識・技能]①</p> <p>情報カード</p> <p>ここではレポートに書く内容や順番を決めるときに情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使っているかを確認する。（2）イ</p> <p>※2時間目とまとめて評価する。</p>

5 6 教室	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> どの「情報」に決めたか。理由をはっきりさせて、レポートをまとめよう。 </div> <p>【全体】決めた理由をつかって、レポートの「はじめに」を書く。 【個人】レポートを書く。「4 考察(1)まで終わらせる。 【全体】「考察(1)」は調査結果から分かったこと、考えたことが書けているか確認する。 【個人】学びの3段階シートを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師見本を参考にさせる。 ・常体で書くように伝える。 <p>◎教師が作成したレポートを提示し、参考にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察を書くときに使える言葉を提示する。 	<p>☆[主体的に学習に取り組む態度]① <u>学びの3段階シート</u> ※8時間目が終わった後にまとめて評価する。</p>
7 教室 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 調査結果や考察を報告し、考えを広げたり深めたりしよう。 </div> <p>【全体】学習の流れを確認する。どうすると考えを広げたり深めたりできるかの説明を聞く。 【4人】同じ目標の生徒同士で調査結果を報告し合い、共通点や相違点、新たな考えを見出す。 【個人】考察(2)を書いてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学習では「調査結果」や「考察」に注目することを気づかせる。 <p>◎考えるために必要なことをキーワードにして掲示する。</p>	<p>☆[思考・判断・表現]② <u>レポート</u> 本やインターネットから理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、友達との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしているかを、考察(1)と(2)で評価する。</p>
④ 4 まとめあげる 教室	<p>【個人】参考資料を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 完成したレポートを読み合い、学習のまとめをしよう。 </div> <p>【全体】レポートを読み合う時の観点を確認する。 ・調査結果の情報の集め方はどうか。 ・考察の内容は、テーマについてさらに広がりや深まりを求めた内容になっているか。 ・これまで学習してきたことを踏まえてレポートが書けているか。 【4人】自分のテーマや、このテーマにした理由、調査結果、考察を読み、感想や質問を付箋にまとめる。 【個人】付箋に書かれた感想や質問を踏まえて、レポートのよい点や改善点を見いだす。 【全体】この学習で身に付いた力を振り返り、今後自分で課題を決める際に役立てることを実感させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回とは違うグループを設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 調査方法 3. 調査結果 4. 考察 <p>(1)初めの考え (2)交流後の考え</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 参考資料 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一度学習計画や学習目標を確認させる。 	<p>☆[主体的に学習に取り組む態度]① (1、5、8時間目) <u>学びの3段階シート</u> ここでは、進んで題材を決め、参考資料を積極的に調べながら学習課題に沿ってレポートにまとめたことを振り返っているかを確認する。</p>

様式 2

6 本時の指導 (7/8)

(1) 目標

レポートのために集めた資料を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、友達との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ

(2) 展開

時配	学習活動 と 生徒の反応	指導のポイント (・) 評価規準 (☆) [] (評価方法) 必要な支援 (◎)
5分	①【全体】本時のめあてを確認する。 調査結果や考察を報告し、考えを広げたり深めたりしよう。	
5分	②前時までの活動と調査結果や考察を振り返る。 考察(1)までできた。・・・と考えた。 友達がどこまで調べられたかな。	◎今回の学習では「調査結果」や「考察」に注目することを気づかせる。 (T2は机間指導をする)
5分	③教師(T1)説明を聞く。 考えを広げたり深めたりするために友達の調べたことや考察との共通点、相違点、新しい発見、目標との関わりを考えるようにする。	・考えるために必要なことをキーワードにして掲示する。 ・紹介の仕方について説明する。
20分	④【4人】同じ目標でテーマを作った少人数グループで交流する。 ・テーマ・調べたこと・考察 日本以外にも、協力隊があるんだな。 国同士のパートナーシップだけでなく、企業同士、市同士のパートナーシップがあるのは初めて知った。 消費者としてチョコレートを買うことでもパートナーシップに関われるのか。	<A話す側> (1)どんなテーマにしたか (2)何を調べたか (3)調べて分かったことや考えたことは何か <B聞く側> (4)聞いたことについての、共通点(思ったこと)質問(聞きたいこと)を述べる。 ・交流が停滞しているグループの様子を見守り、必要に応じて進行を促す。 (T1、T2)
15分	⑤【個人】考察(2)を書く。 世界的なパートナーシップは自分一人では何もできないと思っていたが、消費者である自分も関わっているんだ。目標に向けて少しでも良くしていくためにこれから世界で起っていることにもっと関心を向けていきたい。	◎考察の書き方がわからない生徒には、教師見本を参考にさせる。
5分	⑥【全体】どのような考察になったか振り返り、次回の見通しを持つ。 レポートが完成した。他の友達のレポートはどうなったかな。次回、他の目標で書いた友達の作品を読もう。	☆[思考・判断・表現]②レポート 「読むこと」において、本やインターネットから理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、友達との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 C(1)オ